

印刷業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	5~6	工場内にて、プラスチック成型作業中に、成型機に材料を入れるため機械の階段（1.2m高）を上り、材料注入後、空の袋を持って降りようとした時に階段を踏み外し、手から落下・転倒し、左手首を強打・骨折したものである。	44	30~49
2	11~12	工場内搬入口で産廃物回収トラックに廃棄物積込後、廃棄物上面を均そうと、トラック荷台左側あおりの上に左足、右足はトラック内（廃棄物の中）に足を突っ込んで作業中、右足が沈んで来たので、体勢を立て直そうと、左足に重心を移した時、左足が滑り、コンクリート床上に転落した。	62	50~99
3	20~21	工場内にある紙製品の在庫倉庫内で在庫確認作業中に足を滑らせて転落した。そこは中2階での作業で高さは2mほどあり、落下時に左手首を骨折し、頭部と顔部を強打し歯が折れ、唇を切った。	32	30~49
6	14~15	積み込み作業中にフォークリフト運転中、ブレーキ操作を誤り急停車したために、慣性により運転していたフォークリフトから投げ出され、ホーム下の路上に腰辺りから着地し、続いて後頭部を強打した。	55	1~9
9	8~9	被災者は、期末棚卸しのために共同作業者が操作するピッキングリフトで約1mの高さに持ち上げたパレットに乗って、製品ラック2段目（高さ約1.5m）にある製品の数量を確認していた。（パレットの寸法は110cm×110cmであった。）共同作業者は、被災者をパレットに乗せて持ち上げたままピッキングリフトを低速で移動し、対象製品の前で停止した。被災者は製品ラックの奥にある対象製品の数量を確認しようと、パレット上を製品ラックに向かって右側へ移動したところ、目測を誤りパレットから足を踏み外して床面に転落した。（被災者はヘルメットと安全靴	39	100~299

		は着用していたが、安全帯は使用していなかった。) 転落した時、製品ラック1段目フレームの角(高さ約15cm)に右脇腹を打ち付けた。すぐに共同作業者が上司に報告し、被災者を救急車で病院に搬送した。		
11	9~ 10	当社2階の印刷室の蛍光灯が切れたので脚立の上に上がり、新しい蛍光灯に取り替え下に降りようとした時、足を滑らせ転倒し、その際脚立と一緒に倒れたので、脚立の台の角で胸を打って、負傷したものである。(脚立の高さ1m)	52	1~ 9
12	10~11	机の上に乗って窓の掃除中に、足場が狭かったため机の上から足を踏み外し、後ろ向きで床に落ち、踵を骨折した。	47	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html